

## 事業名 いわむろ「ふるさと講座」

趣 旨 地域に脈々と残るそのかけがえのない財産を再認識し、継承していく。  
 実施主体 新潟市岩室地区公民館  
 参加対象 新潟市民  
 参加者数 延べ98名  
 回数 4回 日数 4日 時間 16時間  
 場所 西蒲区間瀬、西蒲区岩室～金池、中央区～燕市吉田、西蒲区福井佐藤邸（巻）  
 内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月14日（土） 10:00～13:00	漁師が船上で作った鍋（銅壺鍋）を再現	本間 源作
	内容・方法	講師が管理していた鍋（木製）と間瀬公民館に寄付された鍋の2個（1個7人前位）しか現存していなかった。参加者が多いので、大鍋も用意し公民館協力員と共に作成した。講師が手配してくれたアンコウ3匹を目の前でさばきながら、昔の使われ方、銅壺鍋の由来を紹介いただき、参加者全員で味わった。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	9月29日（土） 9:00～14:00	岩室の名水で抹茶と名水周辺の植物を知る	横内 忠紀
内容・方法	岩室温泉地内から金池の林道周辺には6箇所の清水がある。その名水を確認し、道中の草花について説明を受けながら歩いて行った。弥彦山系では、間瀬とここにしかないカエデと大変貴重であるアケボノソウを発見するなど、講師も驚いていた。公園で昼食をとったあと、この名水で協力員が点ててくれた抹茶と水ようかんを県有形文化財に指定されている浄専寺の庭園を見ながら頂いた。		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	10月11日（土） 9:30～13:00	間瀬大工の彫刻の冴えと泉性寺と阿部一族の流転を訪ねて	山田豊昭・阿部 實 赤川 豊
内容・方法	「間瀬大工匠の技」が今でも近郷に残っている内野の「清徳寺」と燕市「吉田神社」を訪ね、その遺構や歴史に触れる学習となった。また、西堀にある「泉性寺」がかつて岩室の夏井地区にあったということから、その歴史を探り先人の足跡を追ってみた。		
4	期日・時間	テーマ	講師等
	11月10日（土） 16:00～18:00	囲炉裏のあった暮らしと郷土食（のっぺ・けんさ焼）	内藤 逸子
内容・方法	旧庄屋の「佐藤家」で赤々と燃える囲炉裏を囲んで郷土食をつくる。「けんさ焼」は、かまどから炊いたご飯を参加者自らにぎり、講師が容易した「しょうが味噌」を付け、その昔どこの家にもあった囲炉裏で焼いた。「のっぺ」は講師及び協力員、ボランティアの皆さんで朝早くから仕込んだものを用意。正月気分をあげわっていただいた。		

成 果 ・ 初めての企画で当初はどうなるかと思われたが、各参加者25名に対し全コース断わらなければならず、キャンセル待ちが出るほどであった。来年度も是非企画してもらいたいと要望があったので、身近な郷土を再認識していただけたと思われる。

課 題 ・ どうしても会場の関係で移動しなければならず、その手段を再考しないといけない。また、交通事情や現場での作業内容により時間が読めずコンマ終了予定が変わることがあった。その場合の対処方法も一考したほうがよいと感じた。

問合せ先 岩室地区公民館（担当：池田）TEL：0256-72-8844

FAX：0256-82-4484